

読賣新聞

2005年(平成17年)7月29日 金曜日

(第三種郵便物認可)

2005年(平成17年)7月29日(金曜日)

言賣

都道府県から気象庁への震度データ送信終了までの所要時間(カッコ内の数字は分)

- <10分以上>
 - ▽東京(22)▽山梨(18)▽埼玉(10)
 - <5~9分>
 - ▽茨城、新潟、石川、岐阜、愛知、広島、山口、高知、熊本、沖縄(9)▽山形、静岡、福岡、佐賀、長崎、鹿児島(8)▽秋田、岡山、大分(7)▽神奈川、鳥取、香川(6)▽岩手、千葉、長野、京都、大阪、愛媛(5)
 - <4分以内>
 - ▽群馬、三重、兵庫、奈良、島根、宮崎(4)▽栃木、和歌山(3.5)▽北海道、宮城、富山、福井(3)▽滋賀(2)▽青森、福島(1.5)▽徳島(1)
- (消防庁調べ)

震度伝達 やっぱり遅い

3都県 10分以上

都内で震度5強を観測した23日の地震の際、東京都から気象庁への震度情報の伝達が遅れた問題を受け、総務省消防庁は28日、全都道府県を対象に行った震度データ送信に関する点検調査の結果を発表した。

地震発生時からすべての震度計のデータを気象庁に送信し終わるまでの所要時間が最も長かったのは、東京都の22分で、次いで山梨県18分、埼玉県10分。気象庁は発生10分後をめぐり、震度1以上の市町村名を「各地の震度に関する情報」として発表

しているが、3都県はこれに間に合わないことになる。いずれも近年、大きな地震災害や震度計の故障がなく、データ送信システムを改善していなかったことが要因とみられる。震度情報の伝達の遅れは救援活動に重大な影響を及ぼす恐れがあることから、消防庁は3都県に改善を要請。東京都は震度を集約するサーバーの処理能力を向上させ、8月中旬に9分以内を実現する。山梨、埼玉県は「ネットワーク回線を増やして対応する」と回答した。また、気象庁は発生5分後をめぐり、震源の位置や震度3以上の市町村名などを「震源・震度に関する情報」として速報しているが、3都県以外の28府県も、5~9分を要し、情報を速報に反映できないことがわかった。

システム 処理能力不足

茨城、埼玉など

4県で震度4

28日午後7時15分ごろ、茨城県南部を震源とする地震があり、茨城、栃木、群馬、埼玉4県の一部地域で、それぞれ震度4を観測した。気象庁によると、震源の深さは約50キロ、マグニチュードは5.1と推定される。

栃木県では、自宅で寝ていた石橋町の男性(61)の頭にテレビの上の植木鉢が落ち、頭を約2センチ切った。群馬県板倉町役場では、3階の窓ガラス(横約75センチ、縦約80センチ)2枚が割れたが、けが人はなかった。

震度3以上の主な地域は次の通り。

▽震度4 茨城県結城

市、筑西市、栃木県佐野市、南河内町、二宮町、群馬県板倉町、大泉町、埼玉県久喜市、北川辺町、騎西町、大利根町、栗橋町、宮代町

▽震度3 東京都千代田区、足立区、神奈川県横浜市、川崎市、茨城県水戸市、つくば市、栃木県宇都宮市、群馬県前橋市、埼玉県さいたま市、熊谷市、福島県表郷村、千葉県成田市